

# Global Study

## 留学生・日本人学生ボランティア派遣

鈴鹿大学では、地域社会における多文化共生社会実現に向けた取り組みとして、国際経験の豊富な留学生・日本人学生を地域の幼稚園、小・中・高校の県内教育機関、行政、地域国際交流団体等に派遣しています。

本事業は、地域の皆様に外国に対する知識と理解を深めていただくためだけでなく、参加する本学学生の自己啓発を促すための「教育の場」としても位置づけています。学生達が本学で学ぶ国際学の専門性と国際経験を活かしながら、地域との交流・協働の中で、責任感、自立心、創造力、コミュニケーション能力等を深めていくことを目的としているためです。

学生派遣に関しましてはいくつかの条件もございますが、この企画の趣旨をご理解いただき、国際交流、国際理解の学習の機会に是非ご利用していただければ幸いに存じます。ご関心のある方は、どうぞお気軽にご相談ください。



### 過去の派遣内容例

- 外国の異なる文化に触れ、興味、関心を持つ
- 世界の料理教室  
(スリランカ料理、中華料理、韓国料理、インドネシア料理、ベトナム料理)
- 世界のこども遊び体験
- 世界の言葉で挨拶しよう
- 英語で遊ぼう
- 留学生と日本文化体験
- 多文化理解講座(国際理解教育)
- 韓国のこどもたちと  
鈴鹿のこどもたちとの比較
- 園児・地域の老人会の方と共に  
日本の伝統的な行事を楽しむ会
- 外国の文化・習慣を知る
- 外国の若者と日本の若者文化の違い

### 派遣学生出身国(参考)

11カ国  
以上

- ▶ 日本
- ▶ 中国
- ▶ 韓国
- ▶ タイ
- ▶ ベトナム
- ▶ スリランカ
- ▶ モンゴル
- ▶ ブラジル
- ▶ ペルー
- ▶ 台湾
- ▶ ネパール
- ▶ その他

## ◆ 派遣先へのお願い事項 ◆

### 1. 申込みについて

「申込用紙(様式1)」をご記入の上、派遣日の4週間前までに郵送・FAXにて、お申込みください。

- 注)①1回の派遣の上限人数は、原則として4名までとします。  
 ②5時間以上の活動、20時以降の活動はご遠慮ください。  
 ③学生の派遣は、一機関で1年に2回までとさせていただきます。  
 ④授業が最優先であることをご理解ください。  
 ⑤学生は学生教育研究災害傷害保険(学研災)に加入しています。

### 2. 打ち合わせについて

派遣当日の打ち合わせについては、申請者と派遣学生の当事者同士で行なってください。

打ち合わせ終了後、本学に確認した、活動時間、内容等詳細をFAXにてご報告ください。(様式任意)

### 3. 交通手段について

当日はできるだけ本学まで派遣学生の送迎をお願いします。どうしても難しい場合は、最寄りの駅等に必ず送迎していただくようお願い致します。また、学生派遣に伴う交通費については、学生に直接お渡しください。

### 4. 費用について

1. 拘束時間が3時間未満の場合は、3,000円以上、3時間以上は5,000円以上を目途に、学生に直接お支払いください。
2. 交通費が発生した場合は、実費を学生に直接お支払いください。
3. 高校への派遣については、入試広報キャリア課までご相談ください。(059-372-3999)

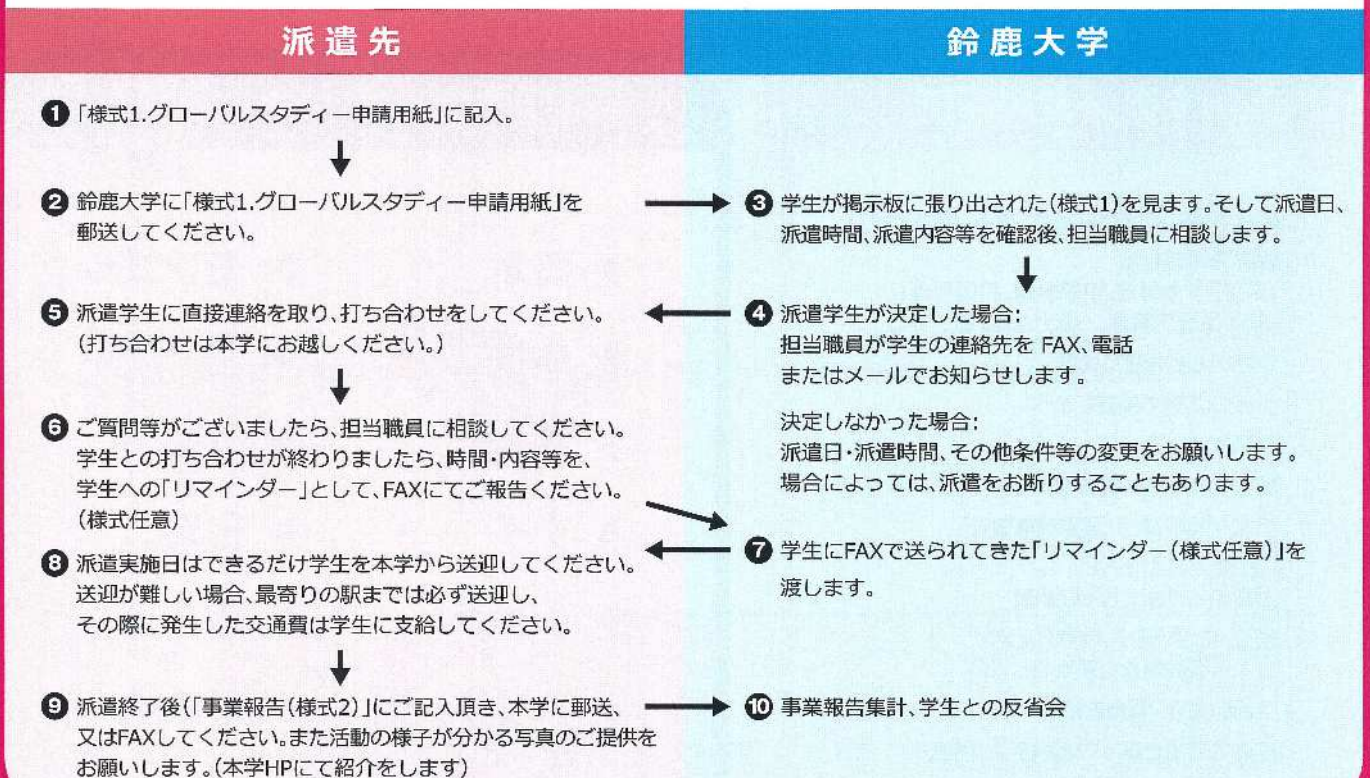
### 5. 事業報告について

派遣終了後「事業報告(様式2)」を本学に郵送、またはFAXしてください。また、学生たちの活躍をホームページなどでご紹介させていただきたいと思っておりますので、写真等のデータを本学まで送ってください。ご協力よろしくお願い致します。

### 6. その他

本事業は学生による自発的なボランティア活動です。授業が最優先されますので派遣日の希望や希望人数・希望国・内容などご希望に添えないこともあることをご理解ください。あくまでも学生ができる範囲で活動致します。

## ◆ 申し込み日から派遣日まで(フローチャート) ◆



※コピーをしてご使用下さい。

(様式 1. グローバルスタディー申請用紙)

# GLOBAL STUDY(学生地域ボランティア活動)のご案内

依頼機関・団体

印

## I. 共通記入事項

1	フリガナ 機関名・団体名	-----		
2	連絡先	TEL(     )     —	FAX(     )     —	
3	住所			
4	E-MAIL			
5	機関代表者名		参加人数	人
6	フリガナ 担当者	-----		
7	事業名			
8	希望日時	年	月	日
9	希望時間	時	分から	時
10	フリガナ 会場名	-----		
	フリガナ 住所	-----		
11	希望テーマ			
12	希望国名		希望人数	名
13	持参してほしいもの			
14	交通手段	□会場から鈴鹿大学まで送迎できる or □できない □公共機関を使って来て欲しい。ただし、到着駅・バス停までの送迎は必ずします。		
		電車:	行	駅下車
		バス:	より	行
15	謝金(活動準備費含む)支給金額	_____円	交通費	_____円

## <依頼者連絡先>

担当者	
電話(FAX)	
メール	
住所	